

くしまから はじめよう。



皆さんのもとにお届けします。
2013
10月号
年6回(偶数月)
No.240

福島県広報誌

ゆめだより



特集

福島県の 営農再開に向けて

福島県

【編集・発行】福島県広報課
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
☎024(521)7014



くしまから
はじめよう。

もくじ

ふくしまの宝「秋麗」…………… 2
 特集：福島県の営農再開に向けて… 4
 キビタンのわかる県政…………… 7
 ふくしまの食…………… 8
 キビタンがゆく／
 広報ステーション…………… 9
 ふくしまの今…………… 10
 地域ゆめ情報…………… 12
 県からのお知らせ…………… 14
 施設インフォメーション……… 15
 ゆめクイズ…………… 16

【表紙】

いわき市立豊間中学校は、東日本大震災の甚大な被害を受け、今も豊間小学校の教室を借りて授業を行っています。部活動も小学校の校庭を借りての練習ですが、同校野球部の生徒たちは、震災後に受けた数々の支援に感謝しつつ、元気に汗を流しています。



今年いわき市のいわきグリーンスタジアムで行われたプロ野球「マツダオールスターゲーム 2013」で、野球部員の鈴木大生くん（写真中央）が始球式を行いました。

あ き
秋
う ら ら
麗

ふくしまの
宝

秋の麗らかな一日。
空は冴え、美しい彩りが広がる。
そんな風景はふるさとの宝です。

爽やかな秋。燃えるような彩りが一面に広がり、その美しさはのびやかに胸の奥まで染み渡ります。そして空は高く、どこまでも続く青い空は私たちの心を解き放ってくれます。澄み渡った空は、秋の

夜長の星空までも楽しませてくれます。誰もが忘れられない秋の麗らかな一日は、みんなの宝物。県内各地のそんな風景を訪ねてみてはいかがですか。





2. 白沢地区の田んぼ (本宮市)
 問本宮市白沢総合支所産業建設課 ☎ 0243-44-2111



3. 秋空と紅葉とお地蔵様 (南会津町)
 問南会津町商工観光課 ☎ 0241-62-6200



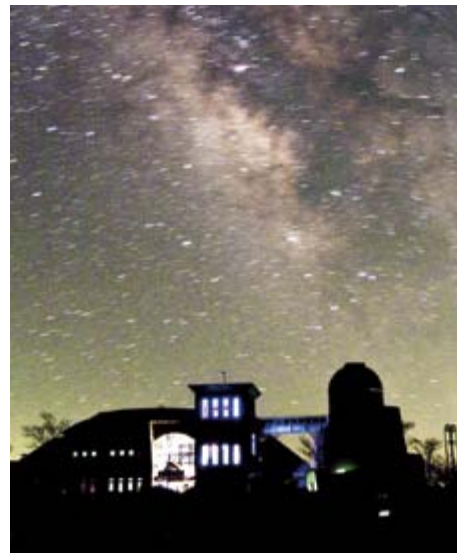
1. 観音沼 (下郷町) かんのんぬま
 問下郷町商工観光係 ☎ 0241-69-1144



4. 棚倉城跡 (棚倉町)
 問棚倉町観光協会 ☎ 0247-33-7886



5. 沼沢湖 (金山町) ぬまざわこ
 問金山町産業課 ☎ 0241-54-5327



6. 星の村天文台 (田村市)
 問星の村天文台 ☎ 0247-78-3638



7. 浅見川大滝 (広野町) あさみがわ
 問広野町建設課産業グループ ☎ 0240-27-4163



8. 三崎公園 (いわき市) みさき
 問いわき市観光交流課 ☎ 0246-22-7477



福島県の 営農再開に向けて

県では、県復興計画の12の重点プロジェクトの一つに「農林水産業再生プロジェクト」を掲げています。今回は、営農再開をした農家の皆さんや農地の復旧の様子、安全で安心な農作物を届けるための取り組みを中心にをご紹介します。

両親はこれまで土を使った「土耕栽培」をしていましたが、安全・安心でかつ高収量のトマト生産を目指し、昨年からは新たに、ヤシガラ培地を用いた養液栽培に挑

ました。両親はこれまで土を使った「土耕栽培」をしていましたが、安全・安心でかつ高収量のトマト生産を目指し、昨年10月、妻と共に就農しました。

両親はトマトのハウス栽培に長年取り組んできました。震災では津波の被害は受けなかったものの、一時避難により、育てていたトマトの苗は全て枯れてしまいました。帰還後、回復に向けて栽培を再開しました。

やりがいのある トマト生産に取り組む



▲仲野内さんご家族

なかのうち ゆうさく
仲野内 勇作さん
(南相馬市原町区)

夏はトマトを中心に生産しています。震災前の栽培面積に戻すだけでなく、新しい栽培方法にもチャレンジしています。

私は以前は自動車の整備士をしていましたが、「農業は、やればやるだけ成果が出る」という両親の話を聞き、農業に可能性を感じ、昨年10月、妻と共に就農しました。

戦っています。これは、土ではなくヤシガラで作られた培地に苗を植え、点滴チューブから水と養分を与える栽培法です。

今年は、県の補助を受け、このヤシガラ培地を用いた養液栽培の面積を拡大しました。

家族一丸となってトマト作りに励んだ結果、栽培面積が昨年は震災前の約50%、今年は約80%までに着々と回復しています。これからも家族で協力し、安全・安心でおいしいトマトを作り続けます。



▲トマトの養液栽培の根元

復興
川内村
挑戦
新しい農業への

川内村に「川内高原農産物栽培工場」(株) KIMIDORI^{キミドリ}が、新たな農業の場、また、村の復興のシンボルとして今年4月26日にオープンしました。

村では、川内村の主産業である農業を再生するため、最新鋭の設備と最先端の技術を備えた人工光型による完全密封型野菜工場を建設し、安全・安心・高品質な野菜の安定供給と風評払しょく、地域雇用の拡大に挑戦しています。

7月から、サラダに欠かせないフリルレタスなどの出荷が本格化。1日2,000株を収穫。業務用として都内に出荷し、8月からは一般家庭用に県内のスーパーでも販売を開始しています。



▲LEDを使用して、衛生的な環境で無農薬のレタスを栽培しています。



▲クリーンな環境でフリルレタスを栽培

水稲のいち早い復旧を



桜井 義晴さん
(南相馬市鹿島区)

両親・兄と共に畜産・農業に従事しています。現在は宮城県村田町の借上げ住宅で妻子と共に暮らし、義晴さんはほぼ毎日村田町と南相馬市を行き来しています。

震災で水田の3分の2が津波被害を受けました。被害を免れた水田も放射能の影響により作付が制限されているため畜産を広げ、親牛を30頭から約60頭に増やしました。震災前は兄が畜産をやりましたが、私は主に水稲をやっていましたが、水稲が再開できるまでは、畜産で頑張っていました。畜産で頑張っている方が「安全・安心なエサを使用している」という情報を発信してくれたこともあり、畜産の経営はだいぶ回復しました。

現在、水稲の方は、県と協力して、放射性物質の基準値を下回る米が生産できることを実証するための水田を設置しています。昨年の暮れから準備し、今年の春に田植

えをしました。間もなく結果が出ます。作付制限が解除された時、すぐに水稲が再開できるように迅速に現場整備が進むことを期待しています。

他の作物に比べ、水稲については除染や吸収抑制対策など、やらなければならぬことが、まだまだたくさんあると思います。ぜひ行政と協力して、1日も早い復旧を実現していきたいですね。



▲畜産に取り組む桜井さん

農地・農業用施設の復旧

東日本大震災により被災した農地や水路、ため池などの農業施設の復旧を行いました。

被災直後は緊急的に津波被災農地の排水対策や海岸の仮締切など二次災害防止対策を最優先で取り組みました。

その後は、被災した農地や農業施設の復旧を進めています。津波被害の大きかった太平洋沿岸の農地については、田や畑の大区画化による整備を行いながら復旧する計画です。

掛樋の復旧 (鏡石町岡の台地区)

鏡石町では、水路を橋のようにつないで下流へと農業用水を流す掛樋(用水路)が大地震により被災し、水を流すことができなくなりました。

稲作に必要な農業用水を確保するため、速やかに復旧工事を行い、昨年の田植えから用水を安定的に供給しています。



復旧後

平成24年8月1日



平成23年3月16日



押手神ため池の復旧 (新地町)

新地町では、津波被害のほか、内陸部にあるため池も大地震により大きな被害を受けました。

水を貯めるための堤の上部に大きなひび割れが発生し、決壊する恐れがあったため、応急対策としてため池の水を抜きました。

その後、ひび割れた部分を取り除き、改めて堤を盛り立てる復旧工事を進め、平成24年に完成しました。



平成23年3月12日



復旧後

平成24年2月2日

今年も実施します！ 全量全袋検査

今年も新米の季節がやってきました。肥料に工夫をこらした（カリ肥料による吸収抑制対策）水田などで丹精込めて栽培されたお米が刈り取られ、全量全袋検査を受けます。

本県では、昨年同様、ベルトコンベア式検査器を導入し、県内で生産される全ての米について放射性物質を測定する全量全袋検査を実施し、放射性物質が基準値以下であることを確認して出荷しています。



▲全量全袋検査の様子



安全・安心なお米をお届けします。



昨年県内で生産された米は、約160カ所の検査場で、約1,130万袋分の米を検査した結果、基準値を超えた米は71点（全体の0.0006%）でした。基準値を超えた米は流通しません。

検査結果は、全て「ふくしまの恵み安全対策協議会」のHPで公開しています。携帯電話やスマートフォンなどで、米袋に張られた検査済ラベルの二次元バーコードを読み込むことで確認することもできます。

今年も昨年に引き続き全量全袋検査を行い、安全で安心、そして「おいしい」福島のお米を県内外の消費者の皆さんにお届けします。

ふくしまの恵み

検査



【バーコードラベル貼付】

検査前に、生産者情報が入ったバーコードラベルを貼る。



【スクリーニング検査】

出荷する米、自宅で食べる米、贈答用の米など「すべての米」を検査。基準値を超えない米のみ合格。



【検査済ラベル貼付】

基準値以下の米に検査済みラベルを貼付。検査結果をシステムに登録し、公表。

全量全袋検査

知事メッセージ

農業の再生は 福島の再生

福島県知事 佐藤 雄平

甘く、ふっくらとしたお米、栄養満点の野菜、みずみずしい果物。福島の豊かな大地で育った農産物は、正に本県の宝です。

県では、農家の皆さんがふるさとで安心して営農を再開できるよう、また、若者が夢と希望を持って農業に取り組んでいけるよう、農地や農業用施設の復旧、新たな生産方式の導入支援など、力強い農業の実現に向けた様々な対策を行っています。

さらに、米の全量全袋検査を始め、生産・流通・消費の各段階で徹底した検査を行い、安全性をしっかりと確認しております。

おいしい福島の農産物を安心して味わっていただくため、引き続き農家の皆さんと共に全力を尽くしてまいります。



食の安全・安心を確保するための取り組み

県では、「ふくしま食の安全・安心対策プログラム」により、3つの基本施策を柱として「食の安全の確保」と「安心の実現」を目指して取り組んでいます。

きめ細やかな検査で、食の安全が保たれているんだね。

食品の安全性を確保するため、生産者や製造・販売事業者に対する監視・指導を行っています。

1 生産から消費に至る監視・指導を強化

安全な農林水産物を生産

不良食品や食中毒防止の対策

監視・指導の強化

食品の衛生管理

輸入食品の流通・販売施設

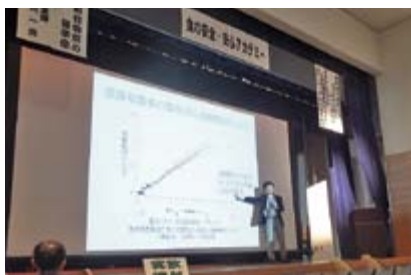


食に関する情報・正しい知識を!

2 情報共有・リスクコミュニケーション

食の安全・安心アカデミーの開催

安全に安心して毎日の生活を送るため、放射線が身体に及ぼす影響などをテーマに講習会を開いています。食品の放射能の測定実演や、食品中の放射性物質の基準値の説明を行い、県民の皆さんの疑問にもお答えしています。



次回開催案内

いわき 10月17日(木) 午後1時30分～午後4時
いわき市産業創造館
「放射線被ばくと健康影響」
長崎大学原爆後障害医療研究所教授
福島県放射線健康リスク管理アドバイザー 高村 昇 先生

福島 11月17日(日) 午後1時30分～午後4時
サンルートプラザ福島
「放射線の健康影響 ～食品の安全性について考える～」
福島県立医科大学 災害医療総合学習センター
副センター長 熊谷 敦史 先生

食品と放射能に関する説明会

一般消費者を対象とした、食と放射能に関する正しい知識についての説明会を開催しています。

2の開催日時・場所などのお問い合わせ 県庁消費生活課 ☎024(521)7736

3 徹底した放射性物質検査を実施

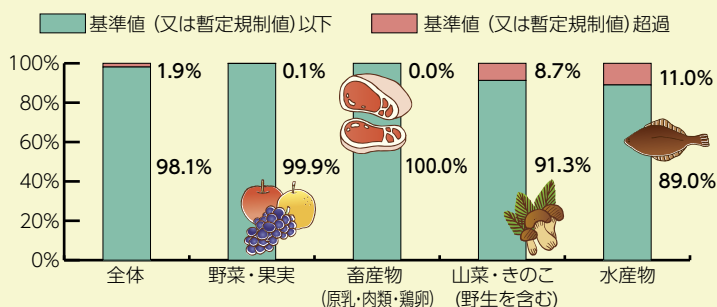
農林水産物などの検査

農林水産物等緊急時モニタリング事業

市場などへ出荷される前の農林水産物の放射性物質検査を実施しています。その結果は、生産者・消費者・流通業者などに速やかにお知らせしています。



● 農林水産物のモニタリング状況 平成24年4月～平成25年6月末の検査結果



飲料水の検査

流通する食品の検査

学校給食の検査

日常食の検査

検査の結果は、福島県のホームページで公表しています

ふくしま新発売。

「ふくしま新発売。」は、未来へ向けて動き出しているふくしまの今と農林水産物のモニタリング情報検索サイトです。





歴史があるこの柿を、
私たちの代でなくすわけには
いかないとの想いで
がんばっています！

晩秋限定！至福の味わい！

会津みしらず柿

進化し続ける伝統の柿 **HP** **JA あいづ** **検索** ☎0242(37)2332



JAあいづ果樹生産部会

左から 菊地 恒弘さん 田原 久誉さん
島影 宣孝さん 渡部 祝一さん

会津若松市門田地区は「みしらず柿」の一大産地。西日が当たる山際で、おいしい柿がとれることで知られてきました。原発事故以降も、会津みしらず柿から放射性物質は検出されていません。



会津の風土が
育てた果実です



▲一枝になる実を極力減らし、栄養がゆきわたるようにしています

みしらず柿の名前の由来は諸説ありますが、「身のほどを知らず、枝が折れるほど多くの実をつけるから」ともいわれます。「みしらず柿は、本来もつと小ぶりの実を多くつけま

手間ひまかけて工夫を重ね

10月には収穫が始まりますが渋柿なので、すぐに食べることができません。渋抜きし、出荷が最盛期になるのは11月。つややかで美しく贈答品としても人気があり、毎年皇室に献上されることでも知られています。

とろりとした食感、上品で濃厚な甘さの「みしらず柿」は、会津そして福島県の秋を代表する味覚です。別名「西念寺柿」ともい、400年以上前に中国から持ち込まれた苗が、現在の二本松市を経て会津に根付いたといわれています。

出荷の最盛期は11月から

話すのは、渡部祝一さんです。伝統的なアルコール脱渋(渋抜き)の他に、近年は若い世代の嗜好に配慮、カリカリと食感が良く日持ちする炭酸ガスの渋抜きなども行われるようになりました。今年も会津の秋の味覚が全国に届けられます。

す。より大きく甘くするため、私たち生産者は手間ひまをかけ、工夫を重ねてきました」とJAあいづ果樹生産部会の島影宣孝さん。みしらず柿の手入れは年間通して行われます。柿の木は折れやすいため雪の重みが負担になる冬は剪定が欠かせません。夏前には、つぼみをつむ摘蕾。続いて7、8月の暑い盛りに摘果をして、一つひとつの実に十分な栄養と日射しが行き渡るように気を配ります。秋には、適期を逃さず収穫しなければなりません。「霜にあたる前に、いかに色づきをよくするか、速やかに収穫するかが大事。また、土づくりも大切で、その情報を生産者が共有しあっています」と話すのは、渡部祝一さんです。

会津北御山産
あんぼ柿



▲会津みしらず柿を元に作られた半生乾燥柿。アルコールで渋抜き後に加工し、乾燥させる事で甘みとうまみを濃縮しています。*12月から4月までの季節商品です。
問/オーチャード斉藤様 ☎0242-26-0170



ふくしまからはじめよう。

福島県復興シンボルキャラクター

キビタンがゆく

子どもたちに笑顔と
元気を届けます!

キビタンが 県内の幼稚園を訪問しています。

キビタンやチームキビタンが幼稚園を訪問し、クイズやキビタン体操で園児たちと笑顔の時間を過ごしています。

金谷幼稚園(いわき市) 8月29日



キビタンとハイタッチ

金谷川幼稚園(福島市) 8月30日



みんなでキビタン体操

キビタンに会いに行こう!

10月

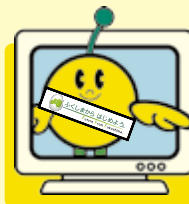
★キビタンスケジュール★

- 10月5日(土)・6日(日)
ごちそうふくしま満喫フェア2013
JRA福島競馬場
馬場内広場ほか(福島市)
- 10月12日(土)・13日(日)
がんばるぞ!しらかわ 食と職の市
白河駅前イベント広場(白河市)
- 10月26日(土)
体験の風をおこそう
国立磐梯青少年交流の家(猪苗代町)

幼稚園・保育所・小学校の
イベントにキビタンを呼ぼう!

TEL 024(953)6881

Eメール kibitan@passage-inc.co.jp



キビタンの部屋

キビタンの活動の様子や、スケジュールなどを紹介。キビタンと会えるイベントをぜひ、チェックして!

キビタンの部屋

できました!キビタン体操

～キビタンと一緒に楽しみながら体を動かすことができる体操ができました～
みんなで覚えて、イベントでキビタンと体操をしよう! 動画は [キビタンの部屋](#) をチェック!

1 ① だまごのポーズ	2 ② うしろをよいで ひらがなでバイバイ (右・左) ②回	3 ③ おはようのポーズ (右・左) ⑦回	4 ④ パンサイズのポーズ (右・左) ⑧回	5 ⑤ おおぐらマッター せびぎマッター	6 ⑥ MIZUMANNY MIZUMANNY
10 ⑩ さかさなげり なげり	11 ⑪ りょうてをあわせて ウラコラヤガモ	12 ⑫ パンサイズから みぎあして ケンケンマン	13 ⑬ こたからムック かむかむあ	14 ⑭ こはおきつっこ パタパタ(右・左)	15 ⑮ キビタンのポーズ
イントロ♪	イントロ♪	3 (おはようキビタン青い空) 7 (歌おうキビタン元気よく)	4 (つかもうキビタン白い雲) 8 (とどけキビタンどこまでも)♪	5 (両手をふって足を鳴らして) 9 (両手をもっと空までずっと)	水たまり飛び越えるよ
高らかにのぼそう	ぬかるんじやった雨上がり♪	太陽がまた顔をだす	僕の想いは空高く	キビタン!キビタン!	キビタン!

広報ステーション

広報誌バックナンバーや番組の詳細などをご覧になれます▶

広報ステーション

テレビ番組

県の施策を分かりやすく紹介

キビタンGO! ～ふくしまからはじめよう。～

[FTV] 毎週 21:54～22:00

新生ふくしま ～ふくしまからはじめよう。～

[FCT] 毎週 16:55～17:00

復興への取り組みをお伝えします

サタふく 「ふくしま調査隊」

[FTV] 毎週 11:30～12:55

ゴジてれ Chu! 「ふくしま情報スクエア」

[FCT] 毎週 15:50～16:53

ふくしまスーパーチャンネル 「ふくしまからはじめよう。」

[KFB] 毎月最終 17:36～17:54

はぴスタ 「行け! 行け! キビタン!」

[TUF] 毎月最終 9:55～10:50



キビタンの天気予報

ゴジてれ Chu!

[FCT] 18時台

1週間の県政の動きを紹介

ウィークリー県政トピックス

[KFB] 毎週 17:25～17:30

ウィークリー県政ナビ

[TUF] 毎週 11:40～11:45

観光地などのふくしまの魅力と今を紹介

ふくしまてくてく

[フジテレビ(関東ローカル)] 毎週 11:40～11:45

[FTV] 毎週 11:45～11:50

ラジオ番組

知事室からこんにちは

ふくしまからはじめよう。

ふるさとだより

[rfc] 毎月最終

12:30～12:45

ふくしま

イブニングブレイク

[ふくしまFM] 17:30～17:35

17:30～17:35

新聞

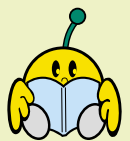
県からの

お知らせ

[福島民報・福島民友]

原則毎月

第2・第4土曜日の翌日



ふくしまの 今

プロ野球選手会と中学校が タイアップして競技化

「子どもたちに野球はどんな存在? って聞くと、『宝物』とか『人生』という答えがよく返ってくるんだよね。その夢を守るのが私の使命です」と磯崎邦広さん。生まれ育ったいわき市で中学校の体育教師として野球部顧問を務めるかたわら、いわき市中学校野球一球会で要職を務め、30年にわたって指導者として野球の普及活動を行っています。

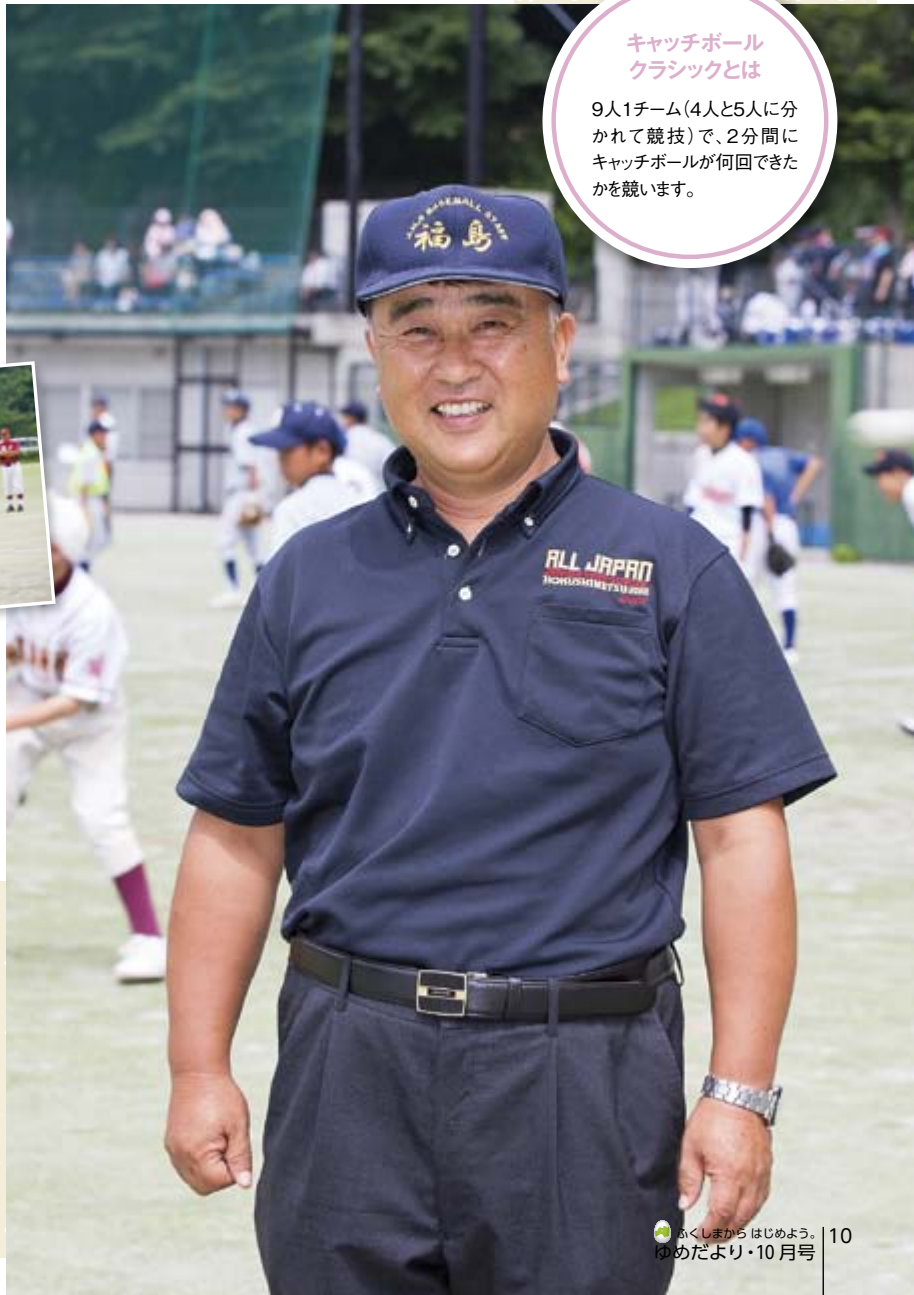
キャッチボールの正確さとスピードを競う「キャッチボールクラシック」。この新しい競技は、子どもたちに夢と希望を与えたい想いが繋がって、ふくしまの地で誕生しました。

※いわき市中学校野球一球会は、いわき市における中学校野球の振興のため、平成5年度に発足した中学校野球指導者のOBと現役指導者の有志の会です。

キャッチボールクラシックは、プロ野球選手会がキャッチボールを競技として考案したもの。それが形になったのは、震災後、福島の子どもたちの笑顔を取り戻そうと、平成23年に震災復興の一環として開催された野球教室でした。同時に開催されたキャッチボールクラシック講習会に一球会の中学野球部員が参加し、ルール化が進んだのです。

キャッチボール クラシックとは

9人1チーム(4人と5人に分かれて競技)で、2分間にキャッチボールが何回できたかを競います。



「ふくしまから始まった」キャッチボールクラシック
想いを受けとめ、元気を返す!

福島県中学校野球競技力向上委員会・いわき市中学校野球一球会 ●磯崎邦広さん(いわき市)

(上)キャッチボールをする子どもたちの生き生きとした姿
(下)7月22日、いわきグリーンスタジアムで行われたプロ野球「マツダオールスターゲーム」第3戦のオープニングセレモニーに行われた、プロ野球選手と県内チームの対戦 ©日本プロ野球選手会
(右)磯崎邦広さん。この競技の普及に全国各地を奔走しながら、子どもたちの未来を見つめています

絆つないで

隠れたそば産地である、あぶくま高原地域。「あぶくま高原そば振興協議会」では、仲間との絆を深めながら、そばを通して地域活性化に取り組んでいます。

あぶくま高原そば振興協議会【小野町】

(小野湯沢そばの会、川内高原そば、芝山を愛する会、葛尾そば石臼の会、ときわそばの会、道の駅ひらた「たけやま、いわきそば塾」 ☎0247-73-2231



▲ 団結しながら活動を進める、あぶくま高原そば振興協議会の皆さん

▲ 研修会では、互いに教え教わりながら、技術向上を目指しています

「あぶくま高原そば」で地域を元気に！

「あぶくま高原そば振興協議会」はあぶくま高原地域のそばをPRし、地域活性につなげようと会長の大千里義市さんを中心に、平成22年7月に発足。各地域のそば愛好会・団体が連携し、6市町村7団体が活動をスタートさせました。会発足の約半年後に震災が発生。メンバーの葛尾村・川内村が大きな被害を受けると、両村を元気付けようと、震災復興イベントと題した「そば祭り」を開催。各地域に避難している両村の仲間が集結し、仮設住宅などで避難者にそばを振る舞いました。また、そば打ちなどの技術交流や向上を目的とした研修会を実施し、仲間同士の交流を通して絆を深めています。

「あぶくま高原そばを広めるために、メンバー全員で協力してさまざまな試みに挑戦しています」という言葉の通り、今年6月には、全国でも例を見ない雪中に眠らせたそばを振る舞う「雪ざらしそば祭り」を開催し好評を博しました。また、計画的避難区域に指定されている川俣町山木屋地区の在来種を使用した、あぶくま産地オリジナル品種の改良にも着手しました。「厳しい自然環境でも育つそばは、昔から地域に暮らす人々の命を支えてきたんです。そのそばを通して、地域の人々の活力や地域活性の力につなげたい」とメンバーの皆さんは意気込みを話します。

11月3日には、首都圏の方を対象とした小野町主催の田舎暮らし体験ツアーで、そば打ち体験を実施する予定です。そばを愛し、地域を愛する皆さんの活動は、仲間との絆を育みながら着実に地域に根付き、広がりをみせています。



▲ 仲間や地域を元気づけようと開催した「復興イベント」



▲ 「50年後、100年後に地域の文化になるよう、活動を続けていきます」と笑顔で意気込みを話してくれました

この競技の正式開催は、同年12月4日に開催された「ベースボールクリスマスinいわき」が最初。県内各地で予選が開かれ、この日に県大会が開かれました。「プロ野球選手会と中学校とのタイアップは全国的にも前例のない試みでした。子どもたちに夢と希望を与えたい。その想いが強かったですね」と磯崎さんは当時を振り返ります。こうしてキャッチボールクラシックは福島で誕生し、福島から全国へと広がり始めています。平成24年には「キャッチボールクラシック」の東北大会が宮城県で開かれ、東北各県以外に

も神奈川県、愛知県、新潟県などが招待チームとして参加しました。

チーム力と思いやりは復興を支える力になるはず

「キャッチボールクラシックの競技時間は2分間、選手間の距離は7mです。3分間では集中力が持たないし、10m以上の距離だと投球フォームや競技のリズムが崩れてしまう。まさに絶妙と言える設定です」と磯崎さんは話します。「この競技はチーム力と思いやりがないとできません。相手

を思いやれば、どんな球を返せばよいかわかるはず。ミスしたときも、後ろの選手がすぐにカバーに入ることが大事。これは今のふくしまに一番求められている精神ではないでしょうか。キャッチボールクラシックに限らずスポーツで得たものは、ふくしまの復興を支える力につながっているはず」と話す磯崎さん。「支えてもらうだけじゃなく、新しいものを創って発信していかないと」と、子どもたちの未来に優しいまなざしを投げかけます。



(左)「キャッチボールクラシック」をふくしま発の競技として誕生させたことが「ふくしまからはじめよう。」の先駆けとして意義深いものであることから、県知事から感謝状を授与されました

©日本プロ野球選手会

(下)選手を指導する磯崎さん。キャッチボールクラシックの普及が福島の復興につながることを祈っています



ふくしまからはじめよう。



大熊町 大熊町ふるさとまつり
10月5日(土) 10:00~15:00



「絆」をつなげていくために、今年もふるさとまつりを開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

開催場所：会津若松市松長近隣公園仮設住宅

開催内容：キャラクターショー、もちつき大会、ふれあい歌謡ショー 他



大熊町観光協会(大熊町商工会内)
☎0242(29)5770 ※11月9日(土)にいわき市でも開催予定です。

飯舘村 いいたて村文化祭
10月26日(土)・27日(日)



震災後2回目となる「いいたて村文化祭」が、福島市飯坂町のパルセいいざかで「感謝と元気の発信!」をテーマに開催されます。当日は郷土芸能などの発表が行われるほか、村民の文化作品や避難先でお世話になっている福島市飯野町と飯坂町の皆さんの作品展示が行われます。観覧は自由です。



飯舘村教育課生涯学習係
☎024(562)4240

伊達市 だてな復魂祭2013
10月12日(土)・13日(日)



伊達市の復興をPRし、元気に明日へと歩んでいる姿を発信する「復魂祭」。3回目となる今年は、「復興」「再生」「感謝」をテーマに開催します。大食い芸人や伝統芸能のライブステージ、食と笑いの祭典「D-1 グランプリ」、姉妹都市・協定締結都市の物産展も見どころ。



伊達市市民協働課地域づくり係
☎024(575)1177

須賀川市 たいまつ松明あかし
11月9日(土)



420余年の歴史を誇る伝統の火祭り。天正17年、伊達政宗率いる軍が須賀川城を攻め落とした合戦で、命を落とした多くの人々の霊を弔うために始められ、今では須賀川の風物詩となっています。長さ10m重さ3tもある大松明や、約30本の本松明の炎が晩秋の夜空を焦がす様子は圧巻です。



須賀川観光協会
☎0248(88)9144

HP

鮫川村 第26回高原の鮫川うまいもの祭り
10月20日(日) 9:30~14:00



かのつのだいら 鹿角平観光牧場を会場にバーベキューや鮫川のうまいものを堪能。また、「丸太早切り競争」やアイドルグループのスペシャルステージ、ライダーが宙を舞うフリースタイルモトクロスのパフォーマンスなどが繰り広げられ、一日楽しめるイベントです。



鮫川村商工会
☎0247(49)2171

会津美里町 新鶴ワイン祭り
10月13日(日) 11:00~14:00



秋空の下、華やかな香りや爽やかな味わいを持つ新鶴産ワイン「北のフィネス」と、福島県産牛肉を使ったバーベキューをお楽しみいただける人気イベントです。バーベキューへの参加は事前予約が必要です。当日は地元製品の販売や新鶴ワインの販売も行われます。



新鶴ワイン祭り実行委員会
☎0242(56)4882

66 県内の主なイベント

10月

- 埴町** **はなわダリア祭り**
～10月31日(木)まで／湯遊ランドはなわ
☎埴町観光協会 0247-43-3400
湯遊ランドはなわ 0247-43-3000
- 郡山市** **大安場史跡公園 古墳まつり 秋**
10月5日(土)・6日(日)／大安場史跡公園
☎大安場史跡公園 024-965-1088
- 双葉町** **第26回双葉町総合美術展**
10月9日(水)・10日(木)／郡山市民プラザ ビッグアイ 6階展示場
☎双葉町教育委員会 教育総務課生涯学習係 0246-84-5210
- 大玉村** **玉井神社の秋祭り**
10月12日(土)・13日(日)／玉井神社
☎大玉村観光協会 0243-24-8136
- 田村市** **第2回星の村天文台スターライトフェスティバル**
10月12日(土)～14日(祝)／星の村天文台
☎星の村天文台 0247-78-3638
- 猪苗代町** **野口英世記念ばんだい高原国際音楽祭**
10月12日(土)～14日(祝)／猪苗代町体験交流館「学びいな」・野口英世至誠館・アンジュール猪苗代・リステル猪苗代
☎猪苗代町生涯学習課 0242-72-0180
- 下郷町** **郷山ウオーク「初秋の会津松川街道を歩く」**
10月13日(日)／会津松川街道
☎下郷町観光協会 0241-69-1144
- 湯川村** **新米祭り 人・川・道ふれあいフェスタ**
10月13日(日)／国道49号「宮古橋」北側 多目的広場
☎湯川村産業建設課 0241-27-8840
地域振興課 0241-27-8831
- 鏡石町** **田んぼアート稲刈りイベント**
10月14日(祝)／鏡石町図書館北側水田
☎かがみいし田んぼアート実行委員会 0248-62-2118
- いわき市** **第10回 いわき街なかコンサート in TAIRA 2013**
10月19日(土)・20日(日)／JRいわき駅前周辺
☎いわき街なかコンサート実行委員会 0246-47-0130
- 三島町** **第9回会津の編み組工芸品展 第4回東北六県伝統的工芸品展**
10月19日(土)・20日(日)／三島町交流センター山びこ
☎三島町生活工芸館 0241-48-5502
- 川内村** **2013かわうち復興祭**
10月20日(日)／いわなの郷
☎川内村復興対策課復興係 0240-38-2112
- 西郷村** **うつくしま・みずウオーク2013 源流の郷 西郷大会**
10月26日(土)／キョロロン村ねころぼ広場
☎西郷村商工観光課 0248-25-2910
- 会津若松市** **会津ブランドものづくりフェア2013**
10月26日(土)・27日(日)／あいづドーム
☎会津若松市商工課 0242-39-1252
- 金山町** **奥会津ごっつおまつり**
10月26日(土)・27日(日)／金山町民体育館周辺
☎金山町商工観光係 0241-54-5327
- 棚倉町** **城下町棚倉わくわくフェスタ2013**
11月3日(祝)／ルネサンス棚倉(駐車場)
☎城下町棚倉わくわくフェスタ実行委員会 0247-33-2113
- 三春町** **三春ウオーク2013 第10回三春秋まつり(11/9・11/10)も同時開催**
11月9日(土)／三春町運動公園スタート・ゴール
☎三春町産業課 0247-62-3960
- 会津坂下町** **ばんげいにしえ街道新そば祭り**
11月9日(土)・10日(日)／会津坂下町農村環境改善センター
☎会津坂下町観光物産協会 0242-83-2111
- 小野町** **2013小町ふれあいフェスタ**
11月9日(土)・10日(日)／小野運動公園
☎小町ふれあいフェスタ実行委員会 0247-72-6939

その他の行事はホームページ [福島県内の主な行事](#)

11月

西会津町野沢駅開業100周年記念イベント 鉄道でつなぐ西会津美味しいもの巡り 10月13日(日)

野沢駅は今年で開業100周年を迎えます。これを記念して「鉄道でつなぐ西会津美味しいもの巡り」と称し、県の食の魅力をPRするB級グルメの出店をはじめ、町内の観光名所巡りと併せ、全国に2カ所しかない貴重なラッセル車、ロータリー車の展示場を目指すウォーキング、ミニSL乗車体験など、内容盛りだくさんのイベントを開催します。



回転雪カキ車(ロータリー)キ621
昭和24年汽車製造大阪製作所で製造。同年2月から昭和51年10月の廃車までの間、除雪作業に威力を発揮した。

西会津町商工会
☎0241(45)3235

喜多方市 新そばまつり【山都・高郷】 10月19日(土)・20日(日)

ラーメンの街として知名度の高い喜多方ですが、実は県内一のそばの栽培面積を誇っており、山間部を中心に寒暖差の大きな気候により良質のそばが育ちます。山都新そばまつり、会津たかさと雷神新そばまつりを皮切りに11月24日(日)までの期間、喜多方・熱塩加納・塩川の各地区でそれぞれ新そば祭りが開催されます。



山都新そばまつりは、「海の幸・山の愛特産品交流事業」イベントとの同時開催、会津たかさと雷神新そばまつりでは、郷土芸能も楽しめます。ぜひ、ひきたて、打ちたての新そばをご堪能ください。

10月19日(土)・20日(日)	第30回山都新そばまつり
10月19日(土)・20日(日)	第10回会津たかさと雷神新そばまつり
11月3日(祝)	岩月新そば祭り
11月10日(日)	ひめさゆりといでゆの里 手打ちそば伝承の集い新そば舌しらべ
11月23日(祝)	第14回塩川新そば祭り
11月24日(日)	上高額新そば祭り

喜多方観光協会
☎0241(24)5200

案内
「がんばろう ふくしまー」応援店
パワーアッププレゼントフェアに
応募しよう！

9月21日(土)～11月4日(休)に、「がんばろう ふくしまー」応援店で買入物をしたレシートを集めて三千元一口として応募すると、抽選で「ふくしまの農産物」などが当たります。八重たんやキビタンののぼりなどが応援店の目印です。

一人何口でも応募できますので、ふるってご応募ください。詳しくは、店頭のパスターやホームページをご覧ください。

問「がんばろう ふくしまー」応援店
プレゼントフェア事務局

☎024(961)9630

県庁農産物流通課

☎024(521)7354

「がんばろうふくしまー」応援店 検索

案内
労使関係の悩みごとについて、相談
会を開催します。相談は無料で秘密
は厳守しますので、気軽に相談くだ
さい。

出張相談会場

10月26日(土)

県いわき合同庁舎南分庁舎

10月27日(日)
郡山市障害者福祉センター
相談時間：午前10時～午後3時
※事前予約をお勧めします

休日電話相談窓口
(県労働委員会事務局)

10月26日(土)・27日(日)

相談時間：午前9時～午後5時

問 県労働委員会事務局

☎024(521)7594

案内
住宅の二重ローン返済を支援

東日本大震災により、半壊以上の被害を受けた住宅にローンが500万円以上残っている人が福島県内に住宅を購入・建設、または建物を修繕して居住するために新たに資金を500万円以上借り入れた場合、借が増した場合、既存の住宅ローン5年間の利子額(上限140万円)を一括補助します。

補助対象などについて、不明な点は気軽にお問い合わせください。

問 県庁建築指導課

☎024(521)8184

電子メール kenchikushidou@

pref.fukushima.lg.jp

福島県 二重ローン 検索

募集
ふくしまグローバルセミナー2013

国際交流・国際協力などの活動に興味がある人を対象とした参加型セミナーを開催します。

開催日 12月21日(土)・22日(日)

※ただし、21日(土)のみ参加も可能

対象 高校生以上

場所 JICA二本松(二本松市)

参加料 21日(土)のみ：千円
1泊2日：4千円

定員 150人(定員になり次第締切)

応募方法 郵送またはファクス、電子メール

応募期限 12月2日(月)必着

応・問 〒960-8670(住所記載不要)
県庁国際課

☎024(521)7183

FAX 024(521)7619

電子メール kokusai@pref.

fukushima.lg.jp

ふくしまグローバルセミナー 検索

催し
ふくしまスマイルキャラバン

県内各地で、ふくしまの子どもたちを元気づける応援メッセージの展示や親子で楽しめるイベントを開催します。

南会津 御蔵入交流館

展示 10月5日(土)～14日(祝)11日まで

は南会津ふるさと物産館で展示します。

イベント 10月13日(日)

県中 福島空港

展示 11月1日(金)～10日(日)

イベント 11月9日(土)

会津 福島県立博物館

展示 12月12日(木)～23日(祝)16日(月)・17日(火)は休館

イベント 12月22日(日)

問 県庁子育て支援課

☎024(521)7198 検索

福島県子育て支援課

募集

農業を学びたい！平成26年度
農業短期大学校(本科)学生募集

次のとおり入校試験を実施します。

募集学科 農業学科 園芸学科 畜産学科

募集人員

推薦 40人程度

一般 【前期後期】各10人程度

出願期間

推薦 10月1日(火)～11日(金)

一般 【前期】11月12日(火)～22日(金)

【後期】1月7日(火)～17日(金)

試験日 推薦 11月1日(金)

一般 【前期】12月6日(金)

【後期】2月7日(金)

応・問 〒969-0292(住所記載不要)

県農業総合センター 農業短期大学

校 農学部(教務管理)

☎0248(42)4113

電子メール nogyou.noutan@

pref.fukushima.lg.jp 検索

福島県農業短期大学校

施設インフォメーション

ふくしま教育週間

11月1日(金)～7日(木)

期間中、小・中学生・高校生は、福島県立美術館・福島県立博物館の企画展入場が無料になります。
【11月5日(火)は休館】

ビッグパレットふくしま

郡山市南二丁目 ☎ 024(947)8010

10月4日(金)～7日(月)	骨董&棚卸大市
11月6日(水)・7日(木)	ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェア2013

福島県文化センター

福島市春日町 ☎ 024(534)9191

10月5日(土)	ディズニー・オン・クラシック*
10月20日(日)	それいけ!アンパンマンミュージカル「おかしな国のおかしなパーティ」*
11月10日(日)	ザ・マイ公演 発表会*
11月28日(木)	INSPI(インスピ)～気になるアカペラコンサート*
11月30日(土)	江戸落語 五人男*

クラッセふくしま

福島市三河南町 ☎ 024(525)4098

10月7日(月)～13日(日)	草木染めと紬織の会 作品展
10月14日(祝)～20日(日)	画々の会第1回作品展
11月3日(祝)～5日(火)	平成25年度第62回福島菊花展示会
11月9日(土)～11日(月)	さつき盆栽 秋季展

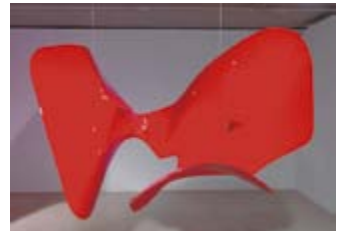
※有料のイベントです(他のイベントは入場無料)

●予定につき内容が変更される場合があります。この他にもたくさんイベントが開催されます。

福島県立美術館 検索 福島市森合字西養山 1 ☎ 024(531)5511

「ホセ・マリア・シシリア 福島・冬の花」

- 開催期間:10月4日(金)～12月1日(日)
- 観覧料:一般・大学生800円(640円)、高校生以下無料 ※ ()内は20名以上の団体
- 休館日:毎週月曜日(10月14日(祝)と11月4日(休)は開館)、10月15日(火)、11月5日(火)



「The instant」

福島県立博物館 検索 会津若松市城東町 1-25 ☎ 0242(28)6000

秋の企画展

「考古学からの挑戦 一東北大学考古学研究所の軌跡一」

東北大学に所蔵されている主要な考古資料を展示します。東北地方の縄文時代の研究に重要な役割を果たした遺跡の遺物をはじめ、各時代の主な遺跡や遺物を多数紹介します。

- 開催期間:10月5日(土)～12月1日(日)
- 観覧料:一般・大学生500円(400円)、高校生300円(240円)、小中学生200円(160円) ※ ()内は20名以上の団体
- 休館日:毎週月曜日(10月14日(祝)と11月4日(休)は開館)、10月15日(火)、11月5日(火)



遮光器土偶(秋田県藤枝遺跡)

福島県文化財センター白河館 まほろん 検索 白河市白坂一里段 86 ☎ 0248(21)0700

収蔵資料展

「ダムに沈んだ遺跡たち I ～三春ダム内の遺跡～」

まほろんの収蔵資料を広く県民に公開する企画展示です。今回は、三春ダム水没区域の遺跡発掘調査の成果から、大滝根川中流域で自然と関わりながら暮らした原始の人々の姿を紹介します。

- 開催期間:10月12日(土)～12月23日(祝)
- 入館料:無料
- 休館日:毎週月曜日(10月14日(祝)と11月4日(休)と12月23日(祝)は開館)、10月15日(火)、11月5日(火)



柴原A遺跡出土の土偶

環境水族館 アクアマリンふくしま 検索 いわき市小名浜字辰巳町 50 ☎ 0246(73)2525

「小名浜国際環境芸術祭2013」

大漁旗デザインコンペ受賞作品・招待作家の作品が海風にたなびきます。

- 開催期間:9月21日(土)～11月10日(日)
- 入館料:一般・大学生1,600円、高校生・小中学生800円、未就学児無料
- 年中無休



大漁旗

主な震災関連相談窓口一覧

福島県 相談窓口一覧 検索

原子力災害	放射線に関する問い合わせ	電話相談窓口 月～金曜日:午前8時30分～午後8時 土 日 祝 日:午前8時30分～午後6時	☎ 0120(988)359 フリーダイヤル
	原子力損害賠償などに関する問い合わせ	電話相談窓口 月～金曜日:午前8時30分～午後5時15分(祝日を除く) ※毎週水曜日午後1時～5時は弁護士による電話法律相談を実施 巡回法律相談 県内7方部において弁護士による無料の対面相談を実施(予約制)	☎ 024(523)1501
生活	県内の仮設住宅への入居や、被災住宅の支援に関して	被災者住宅相談窓口専用ダイヤル 月～金曜日:午前9時～午後5時(祝日を除く)	☎ 024(521)7698
	県内外に避難した人の相談窓口	県庁避難者支援課 または 避難元(先)の自治体 月～金曜日:午前8時30分～午後5時15分(祝日を除く)	☎ 024(523)4157
健康	県民健康管理調査の実施に関する問い合わせ	県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 月～金曜日:午前9時～午後5時(祝日を除く)	☎ 024(549)5130
その他	県政に関する総合相談窓口(相談窓口がわからない場合はこちらから)	県庁県民広聴室 県政相談コーナー 月～金曜日:午前9時～正午、午後1時～午後4時(祝日を除く) このほか各地方振興局にも県政相談コーナーがあります。	☎ 0120(899)721 フリーダイヤル ☎ 024(521)7017



復興の願いを込めて—— 「みしらず柿のあんぽ柿」と「福島県民手帳」が 当たる!

2014
「みしらず柿のあんぽ柿」と「福島県民手帳」(2種のうち
いずれか1冊)
※10月上旬より発売予定 (各500円)

30名様に
プレゼント



▲「みしらず柿のあんぽ柿」と「2014 福島県民手帳」

問題

震災後ふくしまで始まった競技名はなんでしょう。

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ クラシック

○の中に文字を入れてください。(ヒントは10ページ)



県民の声ミニアンケート

県が実施している TOKIO の農林水産物 PR の中で、知っているものはどれですか? (複数回答可)

- ① テレビ CM
- ② 新聞広告
- ③ ラジオ CM
- ④ ポスター・のぼり
- ⑤ 知らない

● 応募方法 / はがきまたはファクス、電子メールにクイズの答え、アンケートの答えと、本誌の中で興味を持った記事、ご意見・ご感想、県政に対する疑問・質問などをお書きの上、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入してお送りください。正解者の中から抽選で30名様に、「みしらず柿のあんぽ柿」と「2014 福島県民手帳 (2種のうちいずれか1冊)」を差し上げます。

● 締め切り / 10月31日(木)当日消印有効
当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

電子メール yume@pref.fukushima.lg.jp

ファクス 024(521)7901



ゆめクイズ

検索

クイズの答え

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
クラシック

- ・県民の声ミニアンケートの回答 (例) ①
 - ・興味を持った記事
 - ・地元で誇りにしている宝
 - ・本誌へのご意見、ご感想
 - ・県政への疑問、質問など
- 郵便番号 住所 氏名 年齢
職業 電話番号

9608670

県庁
広報課
「ゆめクイズ」係

※アンケートの回答内容はプレゼントの当選には関係ありません。
※ご応募いただいた皆さんの個人の情報は、賞品発送に使用し、それ以外の目的には使用しません。
いただいたご意見などは、誌面に掲載する場合があります。

★10月号の正解は次号で発表! たくさんのご応募お待ちしております。

前回(8月号)の正解は「**こども(夢)フェスタ**」でした。(応募総数621通 うち正解603通)

次回(No.241)は12月1日号です。